

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|--|
| Course number | | G-LAS14 80008 SJ90 | | | | | |
| Course title (and course title in English) | | アントレプレナーシップ Entrepreneurship | | Instructor's name, job title, and department of affiliation | | Part-time Lecturer, TERANISHI YUTAKA | |
| Group | | Interdisciplinary Graduate Courses | | Field(Classification) | | Career Development | |
| Language of instruction | | Japanese | | Old group | | Number of credits 2 | |
| Hours | | 30 | | Class style Seminar (Face-to-face course) | | Year/semesters 2024・Intensive, First semester | |
| Days and periods | | Intensive 6th period (18:15-) on Mondays on and after April 13 | | Target year Graduate students | | Eligible students For all majors | |
| (Students of Graduate School of Medicine cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.) | | | | | | | |
| [Overview and purpose of the course] | | | | | | | |
| <p>前半では、汎用性が高い経営管理手法の習得に力点を置く。講義とケーススタディ演習を組み合わせ、アントレプレナーに必要な思考様式と基本的な経営管理手法の習得を目指す。後半では、講義とワークショップ（ビジネスプランもしくはビジネスコンセプトの作成が中心）を組み合わせた構成とする。講義では、バイオ・医療産業セクターの産業構造の特徴や最新トピックについても触れたい。</p> <p>年度ごとに重点テーマを変えているが、本年度はデザイン思考とビジネスモデル及びベンチャーの事業開発の手法の2点である。前者については、デザイン思考に基づくビジネスモデル作成のスキルを習得する。後者については、ベンチャー固有の資金調達手法（含：VCからの調達、公的金融機関、リース、産業ファイナンス等）と事業計画作成スキルを、講義と演習を通じて身につけてもらいたい。</p> <p>経済学・経営管理学に学ぶ大学院生にも理解できる医療系の技術背景を説明し、コースで習得した思考様式・経営管理手法・業界関連知識を活用することにより、医療系起業家としての資質を習得し、日本のバイオベンチャー創出に寄与してもらいたい。医系以外の理系の大学院生においては、ここで習得した知識・スキルを、自らの研究プロジェクトマネジメントの面で生かし研究開発の効率をあげてもらうことを期待する。</p> <p>この様な起業家と研究者との両面の資質を備えたイノベーションコーディネーターを育成し、事業化成功の確率向上に寄与することが、本講座の最終目的である。</p> | | | | | | | |
| [Course objectives] | | | | | | | |
| 事業シーズ探索から事業開発計画の立案まで出来る能力を獲得する。 | | | | | | | |
| [Course schedule and contents] | | | | | | | |
| 第1回 4月13日日本講座の概要（ガイダンス） 第2回 4月20日ビジネスモデル 第3回 4月27日最適なビジネスモデルと戦略 第4回 5月11日ショートケース演習（損益計算書の活用） 第5回 5月18日財務諸表の読み方（外部講師） 第6回 5月25日会社設立に関する法務・会計・税務（外部講師） 第7回 6月1日個人のビジネスアイデア発表 第8回 6月8日資金調達（外部講師） | | | | | | | |
| Continue to アントレプレナーシップ(2) | | | | | | | |

アントレプレナーシップ(2)

第9回 6月15日サイエンスカフェ方式のアイデアの展開（チームアップ）
第10回 6月22日中間発表（チーム別）
第11回 6月29日バイオベンチャーの歩み（外部講師）
第12回 7月6日バイオベンチャーの歩み（外部講師）またはケーススタディ
第13回 7月13日中堅企業の新規事業展開（外部講師）
第14回 7月20日ビジネスモデルコンペ発表会
第15回 7月20日産学連携活動の現状と大学発ベンチャー
* 7月20日は14回、15回の2コマ実施の予定。
* 外部講師の都合により日程変更等の可能性があります。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

以下の3点を総合的に勘案して評価する
発言頻度（ケーススタディ演習によるプレゼンテーション、ディスカッションへの積極的参加等）

チームワーク
ビジネスモデル発表

[Textbooks]

特になし。講師が作成したPPT資料で代用。その他、適時講義中に参考資料を提示

[References, etc.]

（References, etc.）
ステファノス・ゼニオス、ジョシュ・マコーワその他『バイオデザイン』（薬事日報社）
リチャード・ブリーリー、スチュワート・マイヤーズ『コーポレートファイナンス第6版上・下』（日経BP社）
アレックス・オスターワルダー『ビジネスモデル・ジェネレーション：ビジネスモデル設計書』（翔泳社）
エリック・リース『リーン・スタートアップ』（日経BP社）

[Study outside of class (preparation and review)]

ビジネスモデル作成にあたり、担当チームでの検討作業が必須となる。

[Other information (office hours, etc.)]

このコースを受講した方は、夏期集中講義「アントレプレナーシップ特論」（ビジネスゲーム）を受講できます。